

株式会社国定電機



事業者概要

株式会社国定電機は、1969年創業の電気設備業者であり、「電気の地産地消」を掲げて再生可能エネルギーの導入や環境配慮型の設備提案を行っている。特に太陽光型ソーラーカーポートの開発・設置に注力し、脱炭素社会の実現と地域の生産性向上に貢献している。技術力の継承と持続可能な素材の活用に取り組む企業である。

プロジェクト参加背景

再生可能エネルギー推進と事業戦略の強化

国定電機は、地球温暖化防止と生産性向上を目指し、再生可能エネルギーの導入や電気の地産地消を推進している。その中でも、太陽光型ソーラーカーポートの開発は、環境負荷低減と自社技術の活用を両立する重要な事業領域であった。より多くの需要に対応し、認知度を高めるためのブランディングや発信力強化が課題となっており、デザイン経営の視点を取り入れるべく本プロジェクトに参加した。

本プロジェクトで取り組んだこと

環境配慮型素材の検討と情報発信戦略の構築

デザイン経営コンパスを活用し、「技術力の高さ」や「環境配慮の姿勢」といった自社の強みを明確化するとともに、「情報発信の弱さ」や「市場認知度の不足」といった課題を可視化。これを踏まえ、顧客向けに太陽光型ソーラーカーポートのテストマーケティングを実施し、自社がこの事業を展開する意義や独自の価値を整理した。また、受注拡大に向けたWEBサイトの制作やSNS発信の強化を図り、ターゲット層への訴求力を高めるマーケティング戦略の具体化を進めた。



成果・手応え

ソーラーカーポート事業の可能性と発信力の向上

太陽光型ソーラーカーポートの環境価値や自社技術との親和性が再確認され、将来的な事業柱としての可能性が明確になった。また、再生可能エネルギーや素材選定へのこだわりが、環境意識の高い顧客層からの評価を得ることにもつながっている。情報発信力の強化により、企業としての認知度向上や受注増加に向けた基盤も整備されつつあり、確かな手応えを感じている。

今後の展望

サステナブルな設備事業の拡大と海外展開

今後は、環境配慮型素材を用いたソーラーカーポートの受注を増やししながら、さらなるブランディング強化と販路開拓に注力する。また、技術力の継承体制を構築しつつ、インドネシアやカンボジアなど海外市場への進出も視野に入れている。国内外での持続可能な設備事業の展開を通じて、脱炭素社会の実現に貢献し、国定電機としての存在意義と競争力を一層高めていく方針である。